

学校運営協議会だより

CSコーディネーター(文責)中村

第1回京極町学校運営協議会が、5月22日(水)公民館にて開催されました。

学校運営協議会だよりNO3では、第1回運営協議会の様子を次第に沿ってお伝えしたいと思います。

第1回学校運営協議会は、委員の皆様には春先のたいへんお忙しい中でのご案内となりましたが、9名の委員の皆様にご出席をいただくことができました。

※参考 京極町学校運営協議会設置規則 (会議)第13条3運営協議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

1. 教育長挨拶

中村寿樹教育長より、学校運営協議会委員のみなさんに、これまでのご支援・協力に対して感謝とお礼の言葉が述べられました。また、学校のニーズや学校運営協議会からの情報などから、学校と地域をつなげる活動を推進するため、コミュニティスクールコーディネーターを配置したことを報告しました。(コミュニティスクールコーディネーター配置事業)



2. 新加入委員紹介

学校運営協議会委員は、昨年同様の15名です。

事務局は、中村直也(令和5年度末仁木町立仁木中学校長を定年退職) CS コーディネーターを配置して、昨年同様7名で進めています。

3. 令和6年度の活動計画 (議題3より 深澤副会長により議事が進行されました)

CS事務局より、今後開催する予定の第2回(10月16日水曜日)・第3回(2月12日水曜日)学校運営協議会の議題が提案されました。議題は下記の通りです。

(第2回学校運営協議会)

- ・本年度活動の中間報告
- ・令和7年度以降の活動計画を検討
- ・どのような特色ある学校運営協議会を目指すかを熟議

(第3回学校運営協議会)

- ・学校評価の交流
- ・本年度活動の総括(成果と課題)
- ・本年度活動の総括
- ・令和7年度学校運営の基本方針の承認
- ・令和7年度以降の活動計画を検討
- ・どのような特色ある学校運営協議会を目指すかを熟議



熟議とは何か？

熟議とは

学校職員や保護者、地域の方々等学校に関わる様々な立場の方が集まり、地域や学校の課題を共有し、互いの立場や役割への理解を深め、課題を解決していくために、自分に何ができるかを考えることを熟議といいます。

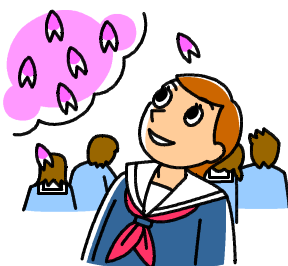
・「目指すこどもの姿」について

学校運営協議会を進める上で大切なことは、「目指すこどもの姿」を共有することです。活動を通して、子どもたちがどんな姿に成長してほしいのか？について確認しました。

※裏面に続きます。

令和4年度の学校運営協議会の中で、「15歳の春、どんな子どもたちに育ってほしいのか」について話し合いが行われました。その話し合いの中で、2つのキーワードを確認しています。

- キーワード1
夢や希望
- キーワード2
郷土愛



学校運営協議会は、令和4年度以降2つのキーワードを念頭に置き活動を続けてきました。また、本年度京極町教育委員会により、下記のような目指す「こどもの姿」が示されました。

**ふるさと京極の未来を思い、語れる子
～将来への思いをつなぎ 未来を拓く～**

このようなことから、令和6年度学校運営協議会は、「目指す子どもの姿」を、「ふるさと京極の未来を思い、語れる子 副題～将来への思いをつなぎ・未来を拓く～」とすることを確認しました。

令和6年度 目指す子どもの姿

令和6年 京極町の子どもの姿 目指す子どもの姿

**ふるさと京極の未来を思い、語れる子
～将来への思いをつなぎ 未来を拓く～**

令和4年熟議

令和6年目指す子どもの姿
→令和4年熟議との関連

<15歳の春、どんな子どもたちに育ってほしいか>

夢・目標 ・10年後(25才)の希望を持っている ・今後の夢や目標を持つ子	郷土愛 ・自分のふるさとを大切にしている ・ふるさとの風情・仲間たちを忘れない ・ふるさとの良さを語れる ・京極プライドをもっている ・京極町を自慢できる子 ・部会に行ってもふるさとに良い目を覚めない
--	---

2年前の熟議の様子

目指す子どもの姿

<2年前・令和4年に考えた学校運営協議会でできること>

体験活動の支援 ・職業体験 ・ピアノ・ギターなどの体験授業 ・和楽器に挑戦させる ・スポーツと一緒にする ・体験学習 ・推薦 ・大人の体験により良い心をもつ ・慶和園などの事業所との関わり	人材・団体の紹介 ・地域の方々と交流 ・地域の人の紹介する ・人材バンクへ今後作成 ・地域の団体に協力してもらう ・家庭科調理実習への支援	その他 ・働くことの大切さ・お金の大切さ ・授業での地域との関わりを場を増やす ・仕事の話を紹介 ・色々な職業を紹介 ・教育委員会・社協の協働 ・京極町の良さを伝える
---	---	--

「目指す子どもの姿」事務局説明資料

4. 学校応援ボランティア募集(人材バンク)の作成について

昨年度の熟議の中で、小学校・中学校を応援(お手伝い)してくれる人の情報を集約した「学校応援ボランティアを募集」し、人材バンクを作成することが確認されていました。そこで本年度、下記募集案内を町内の各ご家庭に配布をさせていただく運びとなりました。

次のような活動にご協力いただける方の登録をお願いします。

- 授業のサポート
スキー 水泳 柔道 陸上 ボール運動 跳び箱 鉄棒など
- 授業の協力
歴史 文化 食 産業 職業 昔の遊びなど
- 授業や特別活動での講師
調理実習 木工作業 絵画 合唱 器楽など
- 職場体験学習の受け入れ
- 登下校の見守りとあいさつ
- 部活動・クラブ活動の補助



登録いただける方の情報は、随時人材バンクに入力させていただきます。また、毎月末に更新した人材バンクデータを小学校・中学校にお渡しします。なお、学校応援ボランティアの皆様には、各学校で協力要請があった場合のみ、学校運営協議会が窓口となってお協力をお願いを連絡をさせていただきますのでご了承ください

京極町学校運営協議会

学校応援ボランティア募集

学校応援ボランティアは、地域の皆様の方で、学校の教育活動をより良くするために、学校の要望にあわせて応援をする活動です。そのための名簿(人材バンク)を作成させていただきます。

学校からの要請を受け、各活動の際に、教育委員会より詳細を連絡いたします。

学校応援ボランティア名簿に登録しませんか？地域の皆様の学校への応援をお願いいたします。

こんな活動の協力をお願いいたします

- 体験活動(歴史、文化、食、産業、職業、昔の遊びなど)
- 実技指導(調理実習、木工作業、絵画、合唱、器楽など)
- 体育の指導補助(スキー、水泳、柔道、陸上、ボール運動、とび箱、鉄棒など)
- 職場体験学習
- 登下校の見守り・あいさつ
- 部活動、クラブ活動の補助

ご登録いただける方は、裏面に記入の上、教育委員会へ提出してください

京極町教育委員会 42-2700

全戸配布した募集案内

5. 本年度の取組・熟議の様子は、NO4(7月号)にてお伝えしたいと思います